



令和6年度 社会連携報告書



亜細亜大学
ASIA UNIVERSITY

CONTENTS

◇産学官連携

- P1. 大学生とあそんで学ぼう
- P2. 岩倉高等学校と「高大連携に関する協定書」の締結
- P3. 堀越高等学校と「高大連携に関する協定書」の締結
- P4. TOKYU MUSIC PROGRAM 第7回地域ファミリーコンサート

◇学びの機会提供

- P5. アジア研究所公開講座
- P6. 春学期公開授業
- P7. 第4回亜細亜大学高校生アジアフォトコンテスト
- P8. 秋学期公開授業
- P9. セミナー「アジア・ウォッチャー」

◇地域との交流

- P10. 第10回西部コミセンちびっこ運動会
- P11. 第15回武蔵境ピクニック
- P12. 久留米西団地夏まつり
- P13. 夏休み学習教室
- P14. 第20回ひので夏まつり
- P15. ヒガコ・サマーフェスティバル
- P16. 桜堤コミセン夏まつり
- P17. ベストライフ武蔵境
- P18. 正一位岩走神社例大祭

- P19. 第 33 回三鷹国際交流フェスティバル
- P20. ニュースポーツ体験会
- P21. 令和 6 年度ひので町民大学 総合講座（前期）
- P22. 土曜学校「亜細亜大学経営学教室」
- P23. 日の出スポーツフェスティバル 2024
- P24. 令和 6 年度一中フェスタ
- P25. 第 20 回みたかわんぱくスポーツ DAY2024
- P26. 令和 6 年度総合防災訓練・医療連携訓練
- P27. 第 36 回日の出町産業まつり
- P28. 令和 6 年度東久留米市 市民みんなのまつり
- P29. 第 12 回ふじみまつり
- P30. 第 38 回連雀コミュニティまつり
- P31. 秋流子ども体験塾小中学生駅伝大会事前講習会
- P32. 養育課程体験発表会（里親）
- P33. TOKYO INDIE GAMES SUMMIT2025
- P34. 中央線パンまつり 2025

◇大学間の連携

- P35. 東京都市大学との合同インターンシップ企画

◇卒業生との連携

- P36. ビジネスネットワークの集い

大学生とあそんで学ぼう



活動の概要

● 連携先

東久留米市、明日葉株式会社、株式会社イトヨーカ堂、株式会社東邦運輸、

● 活動期間

令和6年12月14日(土)

14:00~15:00

● 活動場所

子どもセンターあおぞら

● 参加団体

亜細亜大学 法学部学生

教職課程履修学生

(目的)

『産・官・学の包括連携による次世代を担う子どもたちの育成に関する協定』(平成30年3月)に基づき、東久留米市、明日葉株式会社、株式会社イトヨーカ堂、株式会社東邦運輸、亜細亜大学による産官学連携を実施。本学学生と児童館利用者との交流から、産官学連携の取り組みを認知してもらうことを目的としている。

(活動内容・成果)

東久留米市立児童館「子どもセンターあおぞら」で実施された五者連携(※)に基づく「大学生と学ぼう・遊ぼう」に参加し、小学生向けの「フードロス・クイズ」に一緒に参加したり、集団ゲーム(大学生の壁を抜ける・お宝どんジャンケン)、スーパードッジボールなどのスポーツで子どもと共に汗を流したりしました。



(参加した学生からの声)

児童とのコミュニケーションの取り方を反省する発言が多くでしたが、館長より「様々な性格の利用者がいるので、慎重な対応は良い」というコメントを頂きました。

岩倉高等学校と「高大連携に関する協定書」 の締結



活動の概要

- 連携先
岩倉高等学校
- 締結日
令和6年12月17日
- 締結場所
亜細亜大学 武蔵野キャンパス
- 署名者
岩倉高等学校：森田 勉 校長
亜細亜大学：永綱 憲悟 学長

(目的)

相互の教育に係る交流・連携を通じて、高校生の視野を広げ、進路に対する意識や学習意識を高めるとともに、大学の求める学生像及び教育内容への理解を深め、かつ高校教育・大学教育の活性化を図るため

(活動内容・成果)

- (1) 大学の授業科目への聴講に関する事項
- (2) 国際交流に関する事項
- (3) 大学の各種公開講座への受け入れに関する事項
- (4) 教育についての情報交換及び交流に関する事項
- (5) 大学施設の利用に関する事項
- (6) その他、双方が協議し同意した事項



(今後の課題・目標)

岩倉高等学校の西東京グラウンドで活動する生徒たちの総合的な学習（探究）の時間の支援及びスポーツに必要な身体的・心理的要素ならびにスポーツ競技のスキルや戦術を学ぶことができるように支援する。

堀越高等学校と「高大連携に関する協定書」 の締結



活動の概要

- 連携先
堀越高等学校
- 締結日
令和7年1月17日
- 締結場所
亜細亜大学 武蔵野キャンパス
- 署名者
堀越高等学校：掛本 寿雄 校長
亜細亜大学：永綱 憲悟 学長

(目的)

相互の教育に係る交流・連携を通じて、高校生の視野を広げ、進路に対する意識や学習意識を高めるとともに、大学の求める学生像及び教育内容への理解を深め、かつ高校教育・大学教育の活性化を図るため

(活動内容・成果)

- (1) 大学の授業科目への聴講に関する事項
- (2) 国際交流に関する事項
- (3) 大学の各種公開講座への受け入れに関する事項
- (4) 教育についての情報交換及び交流に関する事項
- (5) 大学施設の利用に関する事項
- (6) その他、双方が協議し同意した事項



(今後の課題・目標)

体育コースの生徒たちが、スポーツに必要な身体的・心理的要素ならびにスポーツ競技のスキルや戦術を学ぶことができるように環境を整える。

また、キャリアデザインが持てるように支援し、大学での継続した学びにつなげる。

TOKYU MUSIC PROGRAM

第7回地域ファミリーコンサート



活動の概要

- 連携先
多摩東急会
- 活動期間
2025年2月9日(日)
- 活動場所
亜細亜大学武蔵野キャンパス
- 参加団体
バーチャリーバ・ソサエティ、
亜細亜大学吹奏楽団、多摩東急会

(目的)

日ごろから音楽を楽しんでいる方はもちろん、老若男女問わず、吹奏楽にあまり親しんだことがない方々にも、亜細亜大学講堂という身近な場所で、また無料で、吹奏楽の音色を楽しんでいただける機会を提供し、地域連携を図るため。

(活動内容・成果)

本学吹奏楽団OB・OGをメインに組織された「バーチャリーバ・ソサエティ」と、本学現役吹奏楽団によるコンサートを開催した。天候にも恵まれ、1,000名以上の方が来場し、大変盛況なコンサートとなった。ファミリーコンサートという名に相応しく、未就学児から高齢者まで、幅広い年代の方に来場していただくことができた。また、自転車や徒歩でお越しになる方も多く、地域貢献ができていることも実感した。お見送り時には多くの方から非常に良かったと感想をいただき、とても有意義な活動ができたと感じている。



(今後の課題・目標)

想定以上のお客様にお越しいただき、講堂内の案内がうまくいかなかったことが課題に挙げられる。次年度以降はスムーズに着席いただけるよう改善を図っていく。

アジア研究所公開講座



※写真は過去対面開催時のもの

活動の概要

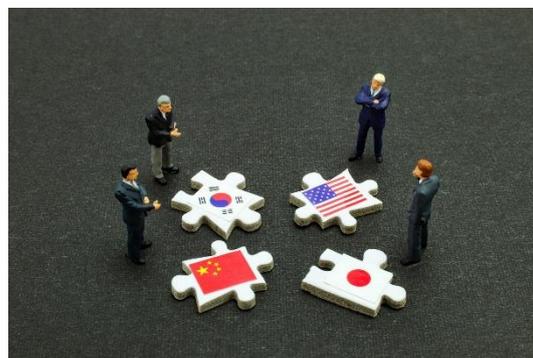
- 主催
アジア研究所
- 開催日
令和6年6月29日～7月27日
(全4回・毎週土曜日)
- 開催形式
ハイブリッド、オンライン
- 参加者(一般公開)
学生・教職員、研究者、地域市民

(目的)

令和6年度は「アジアにおける構造的失業と外国人労働」を共通テーマとして開催。
アジア諸国における失業問題や外国人材といった労働社会の現況からアジアを見つめた。

(活動内容・成果)

- ◎第1回「深刻化する韓国の労働力ミスマッチ：外国人労働者の増加と若年待業の深刻化」講師：奥田 聡（本学アジア研究所）
 - ◎第2回「デジタル・チャイナの就職難：プラットフォーム経済のリスクと保障」講師：澤田 ゆかり（東京外国語大学）
 - ◎第3回「日本の高度外国人材受け入れ：アジアの就職難と人材獲得に向けて」講師：九門 大士（本学アジア研究所）
 - ◎第4回「東南アジアのインフォーマル経済を考える：タイの事例から」講師：遠藤 環（早稲田大学）
- 以上4つのテーマで講演を行い、国内外から計337人が聴講した。



(今後の課題・目標)

戒厳令発令、トランプ新政権により急変する韓国情勢を国内政治、南北関係、日韓関係、米中との経済関係を切り口に分析・展望する。

春学期公開授業



ホスピタリティマネジメント特別講義

活動の概要

●経営学部

ホスピタリティマネジメント特別講義

期間 令和6年4月18日(木)～令和6年7月18日(木)

時限 木曜日4時限目(15時15分～17時00分)

●全学共通科目

武蔵野市寄付講座「現代教養特講」

期間 令和6年4月19日(金)～令和6年7月19日(金)

時限 金曜日4時限目(15時15分～17時00分)

(目的)

本学が地域や社会に開かれた大学として、多くの人々に「学びの機会」を提供するため。

(活動内容・成果)

●ホスピタリティマネジメント特別講義

担当教員:横川 潤 教授(本学経営学部ホスピタリティ・マネジメント学科)／那須 一貴 教授(本学経営学部ホスピタリティ・マネジメント学科)

●武蔵野市寄付講座「現代教養特講」

テーマ:「現代社会を支えるデータサイエンス・AI・Web3」

コーディネーター:堀 玄 教授(本学経営学部データサイエンス学科)／石塚 隆男 准教授(本学経営学部データサイエンス学科)



現代教養特講

(今後の課題・目標)

令和7年度も引き続き学びの機会を提供する。

第4回亜細亜大学高校生アジアフォトコンテスト



活動の概要

- 応募対象
日本国内に在住の高校生
- 作品募集期間
令和6年7月8日～9月23日
- 受賞作品発表
令和6年11月1日
- 応募作品数
110作品(108名)

(目的)

高校生を対象に、アジア地域の文化や習慣を身近に感じてもらう文化企画として写真コンテストを実施。

(活動内容・成果)

第4回となる今回は昨年度に引き続き「わたしがつけたアジア」を募集テーマに開催した。また特別審査員として本学卒業生でプロフォトグラファーの須田卓馬氏から3年連続となる審査協力をいただいた。今年度は108名の高校生から110件の応募があり、開催から初めての3桁応募となった。学内教職員と写真部学生が参加する審査委員会の選考の結果、最優秀賞1名、優秀賞2名、特別審査員賞1名、亜大賞10名が選出された。



(今後の課題・目標)

高校生がアジア地域への興味や関心を深める機会を提供し、募集活動の多様化など、より多くの高校生にアプローチする。

秋学期公開授業



トップマネジメント特別講義

活動の概要

●経営学部

トップマネジメント特別講義

期間 令和6年10月3日(木)～令和7年1月9日(木)
時限 木曜日3時限目(13時15分～15時00分)

ホスピタリティビジネス特講

(京王プラザホテル寄付講座)

期間 令和6年10月2日(水)～令和7年1月8日(水)
時限 水曜日3時限目(13時15分～15時00分)

●国際関係学部

インターナショナル・フォーラム

期間 令和6年10月7日(月)～令和7年1月20日(月)
時限 月曜日4時限目(15時15分～17時00分)

(目的)

本学が地域や社会に開かれた大学として、多くの人々に「学びの機会」を提供するため。

(活動内容・成果)

●トップマネジメント特別講義

担当教員:石塚 隆男 准教授(本学経営学部データサイエンス学科)／柏木 仁 教授(本学経営学部経営学科)

●ホスピタリティビジネス特講

(京王プラザホテル寄付講座)

担当教員:小川 悦史 准教授(本学経営学部経営学科)

●インターナショナル・フォーラム

担当教員:岡崎 弘樹 講師(本学国際関係学部多文化コミュニケーション学科)／金 炯中 教授(本学国際関係学部国際関係学科)



インターナショナル・フォーラム

(今後の課題・目標)

令和7年度も引き続き学びの機会を提供する。

セミナー「アジア・ウォッチャー」



※写真は過去対面開催時のもの

活動の概要

- 主催
アジア研究所
- 開催日
令和6年4月27日、8月25日、
令和7年2月22日（年3回）
- 開催場所
亜細亜大学武蔵野キャンパス、
オンライン
- 参加者（一般公開）
学生・教職員、研究者、地域市民

（目的）

アジアの社会、言語、文化、政治・経済の変化や社会情勢などからタイムリーな話題で講演会を開催し、研究者・地域市民のアジア諸国に対する理解を深め、関心を促す。

（活動内容・成果）

- ◎第1回「改善に向かう日韓関係：尹政権の決断は関係安定の礎となるか」
講師：増原 綾子（本学）
 - ◎第2回「ナガランドとマニプルの信仰世界」
講師：小磯 千尋（本学）
 - ◎第3回「ASEAN 新時代：中国はどう変わるか」
講師：石川 幸一（本学アジア研究所特別研究員）、助川 成也（国土舘大学）、牛山 隆一（敬愛大学）藤村 学（青山学院大学）
- 以上3つのテーマで講演を行い、計311人が聴講した。



（今後の課題・目標）

本セミナーはアジア諸国のタイムリーな話題を掲げ、幅広い層から関心が寄せられている。ハイブリッド形式で実施するなど、多くの方の期待に沿う実施体制を模索する。

第10回西部コミセンちびっこ運動会



活動の概要

- 連携先
西部コミュニティ協議会
- 活動期間
令和6年4月14日(日)
10:30~12:00
- 活動場所
西部コミュニティセンター体育室
- 参加団体
経済学会(2名)

(目的)

未就学児を対象とした地域の運動会。

会場での運営補助や備品の準備、案内誘導を通して未就学児との交流を図る。

(活動内容・成果)

- ・体操をみんなで盛り上げる
- ・備品のセッティング
- ・場内の案内
- ・準備運動(エビカニクス)を一緒に行う
- ・玉入れ、かけっこ等の進行補助

子供たちを通じて地域の方々と触れ合うことができ、本学の社会連携活動を知っていただくことができました。



(今後の課題・目標)

未就学児との交流を通じて貴重な体験ができた。今後も多くの学生が協力できるようにしていきたい。

第15回 武蔵境ピクニック



< 亜細亜大学吹奏楽団による演奏 >

活動の概要

- 連携先
武蔵境ピクニック実行委員会
- 活動期間
令和6年5月18日(土)
10:30~15:30
- 活動場所
境南ふれあい広場公園、
亜細亜大学内スタンプラリー
チェックポイント
- 参加団体
ボランティアセンター(9名)
経済学会(3名)
職員(2名)

(目的)

武蔵境駅周辺地域の商店会、市民団体、大学等が力を合わせ、市民交流や商業振興等を促進し、地域の活性化を図る。

(活動内容・成果)

- ・ 舞台ステージでの出演者の準備・片付け手伝い
- ・ 会場内の巡回
- ・ 回収場所にてアンケート回収係
- ・ スタンプラリーの亜細亜大学チェックポイントにてスタンプ押印作業、案内・誘導

亜大生の力を地域の活性化に役立てることができ、地域との連携をより深めることができた。

(今後の課題・目標)

市民の方に寄り添った企画が充実しており、地域住民の方々と交流ができる機会を今後も増やしていきたい。



< 武蔵野市ご当地ヒーロー「ザナ」 >

久留米西団地夏まつり



活動の概要

- 連携先
久留米西団地自治会
- 活動期間
令和6年7月20日（土）、
21日（日）
16:00～21:00
- 活動場所
久留米西団地 中央児童公園
- 参加団体
ボランティアセンター（12名）

（目的）

地域の方々が協力し合い作り上げるお祭り。

会場でのステージ補助、来場者の誘導・警備、清掃を通して地域住民との交流を図る。

（活動内容・成果）

【エンタメ】

ステージ振興に関する全般、出演者の誘導

【誘導】

来場者の誘導及びステージ等の警備、敷地内での車両誘導

【清掃】

開催範囲のごみ回収

【警備】

来場者の安全確保、本部での警備管理

大学から距離のある地域との交流を深めることができ、双方の信頼関係を築くことができた。



（今後の課題・目標）

指示されたことをすぐに理解し、自分から積極的に行動に移せるようにしていきたい

夏休み学習教室



活動の概要

- 連携先
西東京市立田無第一中学校
- 活動期間
令和6年7月23日(火)～25日(木)
9:00～10:50
- 活動場所
西東京市立 田無第一中学校
- 参加団体
教職課程履修学生(3日間計:2名)

(イベント開催目的)

夏休みの宿題への取り組みが困難と感じたり、自宅にて学習する場所がない生徒への学習補助

自分で学習を進めることが得意でない生徒への学習支援

(活動内容・成果)

- ・1年生と3年生を対象とした、各教室約40名の生徒を担当
- ・夏休みの宿題や受験対策に関する自主学習の補助
- ・生徒への声掛け、質問対応

ICTの活用や個別最適な学びなど、新学習指導要領に対応した学校教育について学ぶことができた。



(今後の課題・目標)

教育環境や学習サポートについて、より生徒に寄り添った支援が今後も必要である。今後も地域の学校と連携し、様々な活動を行っていきたい。

第20回ひので夏まつり



活動の概要

- 連携先
日の出町教育委員会文化スポーツ課
- 活動期間
令和6年7月27日(土)
14:30~21:00
(来場者カウント係)
- 活動場所
「日の出町民グラウンド」
- 参加団体
硬式野球部、陸上競技部、
女子陸上競技部、硬式庭球部、
アジア女子ローンテニス部、
サッカー部

(目的)

町制施行50周年記念として開催された「ひので夏まつり」イベントにおいて、日の出キャンパスを拠点として活動している体育会6団体の学生達が、日頃より応援していただいている日の出町民のみなさんのためにまつりへの協力をする。

(活動内容・成果)

- ・入口での来場者カウント
- ・来場者集計作業

主に体育会に所属している学生達が担い手となり、日頃より活動を応援していただいている地域への社会貢献活動をより深めることができた。

(今後の課題・目標)

長時間で30℃を超える気温の為、6名3交代制での作業とした。引き続き、日の出町民のみなさまに応援をしてもらえるように協力をしていきたい。



ヒガコ・サマーフェスティバル



活動の概要

- 連携先
東小金井南口商店会
- 活動期間
令和6年8月2日（金）、3日（土）
17:30～21:30
- 活動場所
日本歯科大学 第1グラウンド
- 参加団体
ボランティアセンター
(2日間計：26名)

(目的)

地域観光まちおこしのイベントを円滑に行うことができるようサポートする。

(活動内容・成果)

- ・ 来場者の自転車整理
- ・ ごみの分別
- ・ 来場者の誘導

亜大生の協力があることにより、ごみの分別や自転車駐輪等が安心・安全に行えることを多くの参加者に理解いただくことができた。



(今後の課題・目標)

時間を有効に使い、業務に取り組むことの必要性を学ぶことができた。
今回の経験を今後の生活に活かしていけるよう心がける。

桜堤コミセン 夏まつり



活動の概要

- 連携先
桜堤コミュニティ協議会
- 活動期間
令和6年8月24日（土）
- 活動場所
桜堤コミセン・上水北公園
- 参加団体
亜細亜大学ボランティアセンター
(3名)

(イベント開催目的)

たくさんのイベントを企画し、地域の子供たちに楽しんでもらう。

(活動内容・成果)

- ・模擬店販売、駐輪場案内、会場内見廻り
 - ・本学学生の協力は、一緒に担当した方々からも評価が高く、学生もボランティアを通じて社会貢献の楽しさを感じることができた。
- また、運営側・協力者双方の協力により、お祭りを見に来ていただいた方に喜んでいただくことができた。



(参加した学生からの声)

- ・スタッフの方が的確に指導、優しく受け入れてくれ、楽しく運営することができた。
- ・みんなが和気藹々とボランティアすることができた。

ベストライフ武蔵境



活動の概要

- 連携先
ベストライフ武蔵境
- 活動期間
令和6年8月30日（金）
- 活動場所
ベストライフ武蔵境 食堂
- 参加団体
亜細亜大学吹奏楽団

（目的）

施設行事として本学吹奏楽団が利用者様に生演奏を届け、世代を超えて交流を行う。

（活動内容・成果）

名曲、「明日があるさ」から始まり、「少年時代」、「サザンオールスターズメドレー」、「浪漫飛行」、「ジャパニーズ・グラフィティー IV ～弾 厚作 作品集～」を披露。アンコールの「川の流れのように」では利用者も一緒に曲に合わせて手拍子などで盛況の後に終了。
利用者の方々へ音楽の楽しさと喜びを感じていただくことができた。



（参加した学生からの声）

昨年度に引き続き同施設よりご依頼をいただき演奏の機会を得られた。今後も福祉施設での演奏は継続して行い、学生と利用者の方との交流の場となるよう推進していく。

正一位岩走神社例大祭



活動の概要

- 連携先
あきる野市伊奈「岩走神社」
- 活動期間
令和6年9月14日(土)・15日(日)
- 活動場所
あきる野市「岩走神社」周辺
- 参加団体
女子陸上競技部5名・岡田監督

(イベント開催目的)

伝統ある地域祭りの開催

(活動内容・成果)

- ・「岩走神社」から伊那地区へ神輿を引いて練り歩くボランティアに参加した。
- ・仁平2(1152)年から続く伝統祭りを継承するため、女子陸上競技部が引手として参加した。
- ・地元の方々との交流を通じて、亜細亜大学女子陸上競技部のことを応援する方が増えた。



(参加した学生からの声)

- ・地域の方に喜んでもらえ、お礼の言葉や応援の言葉を多くいただきました。
これからも地域連携活動を通じて、一人でも多くの応援してもらおう方を増やしたいです。

第33回三鷹国際交流フェスティバル



活動の概要

● 連携先

公益財団法人 三鷹国際交流協会

● 活動期間

令和6年9月22日(日)

● 活動場所

東京都立井の頭恩賜公園西園・競技場
文化交流広場 及び 野球場周辺

● 参加団体

亜細亜大学ボランティアセンター

(目的)

世界の音楽やダンスのステージ、各国の料理や民芸品などを子供たちに体験してもらい、安全に楽しめるようサポートする。

(活動内容・成果)

【キッズゾーン】

パラシュート等の体験型アトラクション

子供たちが安全に楽しめるよう活躍をした。



(参加した学生からの声)

子どもたちが安全に気をつけて活動することができ、楽しそうな様子を見ることができてよかった。

「ニュースポーツ体験会」



活動の概要

- 連携先
日の出町
- 活動期間
令和6年9月29日
- 活動場所
亜細亜大学 日の出キャンパス
- 参加団体
日の出町教育委員会
亜細亜大学

(目的)

スポーツを通じて地域社会との交流を深めるとともに、年齢や性別、障がいの有無を問わず“誰でも楽しめる”ニュースポーツを体験してもらうことで、共生社会の充実へ貢献するため。

(活動内容・成果)

日の出町教育委員会主催。日の出町の小・中学生を対象に、「モルック」「キンボール」「ラダーゲッター」などのニュースポーツの体験会を行った。

当日の参加者は20人前後であった。



(今後の課題・目標)

開催日程や告知方法等の検討を継続し、より多くの参加者にニュースポーツを体験してもらい、共生社会への理解と健康増進に努めてもらいたい。

令和6年度 ひので町民大学 総合講座（前期）



活動の概要

- 連携先
日の出町文化スポーツ課
- 活動期間
2024年9月11、25、30日
- 活動場所
亜細亜大学日の出キャンパス
- 参加教員
①白井 宏昌 教授（都市創造学部）
②肥後 治樹 教授（法学部）
③久保田美穂子 准教授（経営学部）

（目的）

日の出町が生涯学習事業として実施する「ひので町民大学」において、包括連携を活用し本学教員を講師として派遣、日の出町とのより一層の連携強化や、生涯学習の一層の充実、地域社会への還元を図る。

（活動内容・成果）

3 学部の教員それぞれが、自身の研究分野に沿った内容にて講義を展開した。

- *①「空間の再生：古くて新しい社会をつくる」
- *②「大間マグロを釣って売ったら何回課税されるのか？」
- *③「旅行の楽しみと地域の活性化」

参加した町民は非常に熱心に受講し、質問も活発で各回盛況であった。なお、久保田准教授の回はゼミ生も参加し、町民の方々と共にワークを行った。講義内容について、毎回テイストの異なる内容で学びが豊富だったと、受講生から好評であった。

◆参加者数 ①27名 ②19名 ③23名



（今後の課題・目標）

台風上陸のため、延期になった回があった。今後もそのような事態が発生する可能性は多分にあるので、有事への備え、素早い情報伝達等、想定しておく必要がある。

土曜学校「亜細亜大学経営学教室」



活動の概要

● 連携先

武蔵野市教育委員会（指定管理：公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団 武蔵野プレイス）

● 活動期間

令和6年10月12日（土）

● 活動場所

亜細亜大学 ASIA PLAZA 4階

● 参加者

積 惟美 講師（経営学部）、積ゼミ学生
関 洋平 講師（経営学部）、AUSEP 学生

（目的）

経営シミュレーション・ゲームを通じて、小学生が経営学に触れ、意思決定能力やデータ分析能力を培うため。

（活動内容・成果）

経営シミュレーション・ゲームを通じてグループ毎に会社を起業・経営してもらい、損益計算書や貸借対照表に触れながら、生産量や広告宣伝費などに関する意思決定を行ってもらった。

また、各グループに亜細亜大学の大学生が付き、経営に関するアドバイスを行い交流した。



（今後の課題・目標）

今後も、地域の小学生が経営学に触れる機会を提供したい。

ひのでスポーツフェスティバル 2024



活動の概要

● 連携先

日の出町役場

● 活動期間

令和6年10月13日（日）

● 活動場所

亜細亜大学日の出キャンパス

● イベント参加人数

約300人

● 参加団体

スポーツ振興センター

（目的）

地域交流の場を提供することで、地域の活性化に協力すること

（活動内容・成果）

イベントの企画及び進行については、日の出町役場が主として行っており、スポーツ振興センターとしては会場の貸出と当日の運営補助となっている。日の出町役場や町民の満足度も高く地域の子供たちが楽しく参加している企画に協力することができた。



（今後の課題・目標）

日の出町とさらに連携を強めていき、本学の学生にも参加してもらい、地域交流の場として盛り上げていきたい。

令和6年度一中フェスタ



活動の概要

- 連携先
武蔵野市青少協第一地区委員会
- 活動期間
令和6年10月19日（土）
- 活動場所
武蔵野市立第一中学校
- イベント参加人数
15名
- 参加団体
セパタクロー部

(目的)

武蔵野市立第一中学校の生徒が、スポーツや音楽、工作、日本文化など様々な文化を体験し、地域の方々との交流を深めるイベントであり、社会貢献とセパタクロー振興活動のために参加した。

(活動内容・成果)

セパタクローの競技ルールやアタック・サーブ・試合などの実践的な体験を行ってもらった。

また、本体験会を通して、得点を得るためにみんなでボールを繋ぎ、協力する喜びを分かち合い、スポーツで重要な「チームプレー」の重要性も感じてもらった。

(今後の課題・目標)

今後も近隣地域をはじめ、幅広く社会貢献活動に積極的に取り組んでいきたい。

第20回みたかわんぱくスポーツ DAY2024



活動の概要

- 連携先
三鷹青年会議所
- 活動期間
令和6年10月20日(日)
- 活動場所
味の素スタジアム
- 参加団体
亜細亜大学ボランティアセンター
国際文化局、新入生研修委員会

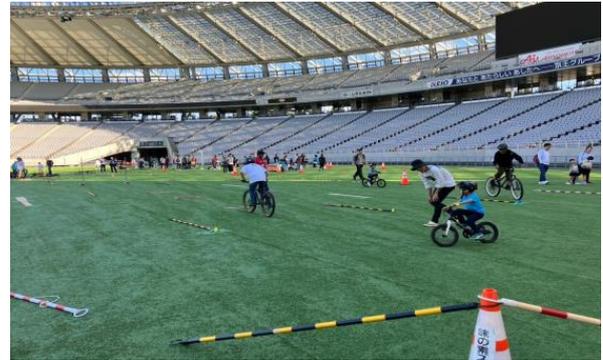
(目的)

ラグビー体験、サッカー体験、ミニセグウェイ体験等、子供たちにスポーツの機会を提供し、身体を動かしながら交流する楽しさを伝える。

(活動内容・成果)

事前テント設営や備品準備、当日の子供たちが参加するスポーツ体験ブースのサポート、会場見回り。

子供たちに交流を通して、体を動かす楽しさを実感してもらうことができた。



(参加した学生からの声)

- ・子供達の安全に気をつけて活動でき、みんなが楽しそうで良かった。
- ・前回参加した人ともまた交流することが出来て、良い関係を築くことができた。

令和6年度総合防災訓練・医療連携訓練



活動の概要

- 連携先
武蔵野市役所 健康福祉部 健康課
- 活動期間
令和6年10月20日（日）
- 活動場所
武蔵野赤十字病院
- 参加団体
亜細亜大学ボランティアセンター

(目的)

首都直下地震を想定し、市、防災関係機関および地域住民が一体となり、発災直後における対応訓練を実施し、初動態勢の充実強化を図る。

(活動内容・成果)

発災時に多発発生する疾病者を想定した緊急医療救護の開設・運営やトリアージの訓練の実施。

自分たちの住む町でも起こりえる大規模災害に備え経験を活かしていく。



(参加した学生からの声)

間近で医療従事者の方の対応を見ることができ、災害時に自分にもできることが少しだけではあるが増えた。

第 36 回 日の出町産業まつり



日の出町イメージキャラクター「ひのでちゃん」

活動の概要

- 連携先
日の出町産業まつり実行委員会
- 活動期間
令和6年10月26日(土)、27日(日)
- 活動場所
イオンモール日の出 西側 駐車場
- 参加団体
一般奉仕会『細流』

(イベント開催目的)

町の産業を一堂に集め紹介することにより地域産業の発展と交流、地産地消による経済の発展を願う。

(活動内容・成果)

- ・来客人数のカウント、活動の様子の記録、着ぐるみをきて参加者を楽しませる。
- ・ゆるキャラの着ぐるみの中に入るという貴重な体験から、運営に関わる全ての方の努力と大変さを実感することができ、この経験を今後の活動に活かしていきたい。



日の出町イメージキャラクター「ひのでちゃん」

(参加した学生からの声)

町のイベントの裏側を知ることができた。スムーズに進行できるように多くの方が協力しているからこそ、地域のイベントや祭りを楽しむことができていたことを実感した。

令和6年度 東久留米市 市民みんなのまつり



活動の概要

- 連携先
東久留米市 市民部 産業政策課
- 活動期間
令和6年11月9日（土）
- 活動場所
東久留米市市役所、まろにえ富士見通り、東久留米駅西口ロータリー他
- 参加団体
亜細亜大学ボランティアセンター

(目的)

市内で商工業を営む事業者がさまざまな催しを企画するとともに、身近にある農業について、多くの参加者に知ってもらう。

(活動内容・成果)

会場に設置される2か所のステージで行われるアトラクションで、出演者のお手伝い（誘導やステージ準備、司会等）を行う。

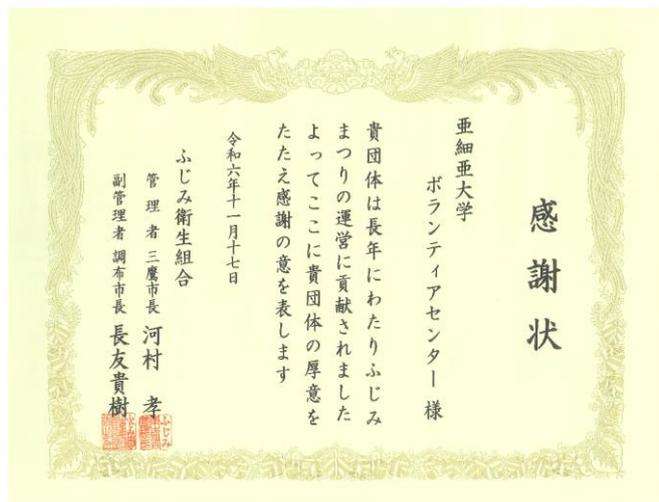
路上パフォーマーの誘導、パフォーマンス中の警備、受付テントへの誘導等、イベント時に必要となる知識を身につけることができた。



(参加した学生からの声)

東久留米市民の皆さんに貢献できたことや、地域の人と話ことができ、とてもいい機会となった

第12回ふじみまつり



活動の概要

- 連携先
ふじみ衛生組合
- 活動期間
令和6年11月17日(日)
- 活動場所
ふじみ衛生組合 クリーンプラザふじみ
- 参加団体
亜細亜大学ボランティアセンター

(目的)

環境に配慮しながら施設運営を行うとともに、三鷹市・調布市の方々に身近で親しまれる施設を目指しており、地域の方々との交流を深め、さらなる啓発活動の推進を図る。

(活動内容・成果)

司会進行、場内整理、ごみ分別指導、駐輪場整理対応、エコワークショップ手伝い、模擬店等各種コーナー手伝い。

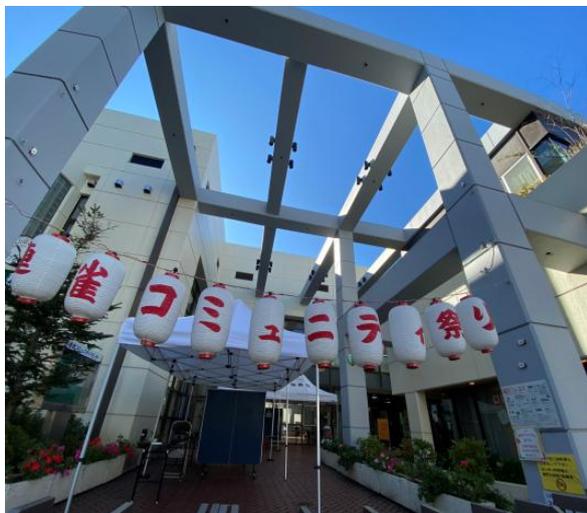
長年にわたり運営に貢献してきたことに対して、ふじみ衛生組合より「感謝状」をいただいた。



(参加した学生からの声)

リサイクル中心のゴミの分別を広めたりと自分の中でもやり切った感が強く持てた

第38回連雀コミュニティまつり



活動の概要

- 連携先
連雀地区住民協議会
- 活動期間
令和6年11月23日(土・祝)
10:00~17:00
- 活動場所
連雀コミュニティ・センター
- 参加団体
亜細亜大学ボランティアセンター

(目的)

「学生と地域との繋がり場」また「意欲に満ちた学生の活躍の場」として、地域と学生が交流するまつりとなるよう、様々な催し物を企画。

(活動内容・成果)

喫茶コーナーの販売補員、子供向けコーナー、バルーンアートコーナー運営補助、まつり終了後各コーナーの片付け作業。
老若男女問わず、地域の方との交流を通して多くの学びを得ることができた。



(参加した学生からの声)

バルーンの作り方をマスターして多くの子供達を喜ばせることができた。

秋流子ども体験塾小中学生駅伝大会事前講習会



活動の概要

- 連携先
042-558-1262
(あきる野市役所スポーツ推進課)
- 活動期間
2024年11月上旬～12月上旬
- 活動場所
各小中学校
- 参加団体
男子陸上競技部、女子陸上競技部

(目的)

秋流子ども体験塾小中学生駅伝大会に参加する小中学校への事前駅伝指導を本学男子陸上競技部および女子陸上競技部の指導者・学生が行うもの。

(活動内容・成果)

11月上旬から12月上旬までの期間で約8カ所程度の小中学校を訪問し、1時間程度の駅伝教室を実施した。参加者は1校当たり10名～40名程度の参加者がいた。対応した学生は普段小中学生に指導を行うことがないため、伝え方などを工夫し、駅伝でしか行わない襷のかけ方、襷の渡し方を中心に指導した。また本事業をとおり、人間的な成長にも繋がった。



(今後の課題・目標)

時期的に、大学の授業期間中であることから派遣学生が限られている。可能であれば亜細亜大学日の出キャンパスにてまとめて参加できるように要請した。

養育家庭体験発表会（里親）



活動の概要

- 連携先
日の出町こども家庭支援センター
- 活動期間
2月12日
- 活動場所
亜細亜大学日の出キャンパス
- 参加団体
女子陸上競技部
- イベント参加人数
約30名

(イベント開催目的)

多様性の富んだ社会になっていく中で、様々な家族の形を認知、理解し社会で活躍する人間性を学生に身に付けてもらうため。

(活動内容・成果)

日の出町のこども家庭センターの職員を通して、多くの里親の方々の事例を紹介していただいた。学生もまるで、一種フィクションのような状況が現実としてそこにあることを理解し、実施後のアンケートでは多くの学生から満足度の高い回答が得られ、新しい知見を深めてもらうことができた。



(今後の課題・目標)

今回は日程の都合上、女子陸上競技部のみの参加にとどまったが、今後開催される際はさらに参加者を募っていきたい。

TOKYO INDIE GAMES SUMMIT2025



活動の概要

● 連携先

株式会社 Phoenixx

● 活動期間

令和7年3月8日（土）、9日（日）

● 活動場所

武蔵野公会堂・吉祥寺 REI ホテル

● 参加団体

亜細亜大学学友会 国際文化局、財務局

(目的)

イベントを通じて、クリエイターやファン、地域が一体となって新しい可能性が生まれ育っていく

(活動内容・成果)

- ①受付/ブースの待機列整理・誘導
- ②会場内の巡回/ご案内
- ③お客さまからの質問や会場内の案内
- ④ステージエリアでのお客様の誘導

ここでしか得られない交流の場が提供され、町全体との取り組みが一層強化されるイベントである。



(参加した学生からの声)

イベントの様子を見て年齢、性別、国籍問わずゲームを好きな人や作っている人がこんなにもたくさんいるんだと実感でき、嬉しく感じた。

中央線パンまつり 2025



活動の概要

- 連携先
中央線パンまつり実行委員会事務局
- 活動期間
令和7年3月9日（日）
- 活動場所
境南ふれあい広場公園
- 参加団体
亜細亜大学ボランティアセンター

(目的)

中央線沿線のベーカリーが集まり、パンや焼き菓子を楽しむことができ、また、中央線の駅社員が考案したオリジナルパンなど、ここにしかないくらしをつくる。

(活動内容・成果)

- ・ごみの分別呼びかけ
- ・待機列整理
- ・安全巡回

パンの販売を通じて、色々な方との交流を持つことができ、今後のボランティアに活かすことができる。



(参加した学生からの声)

チラシを配布する際に色々な方と話すことができ、非常にやりがいのあるボランティアだった。

東京都市大学との合同インターンシップ企画



活動の概要

- 連携先：学校法人五島育英会
- 活動期間：令和6年8月～12月
- 活動場所：東京都市大学
亜細亜大学
AP 渋谷道玄坂貸会議室
- イベント参加人数：42名
- 参加団体：なし

(目的)

- ・一般的にイメージされやすい「大学職員=事務」という側面だけでなく、厳しい社会情勢の中で改革・変化のためにアクティブに仕事を行っているということを大学職員志望の学生に知ってもらうため。
- ・両大学8名の職員が企画運営を行う本プロジェクトの最大の強みを活かし、各部署での実例に基づく業務体験を通じて「前例に囚われず、恐れずに」考えてワークに取り組むことを通じて、大学職員という仕事への理解・興味を深めてもらうため。

(活動内容・成果)

大学間連携協定を結ぶ東京都市大学において実践するアクティブラーニング研修をモデルに両大学の若手事務職員が企画から運営まで約5か月間の長期研修を行った。

その研修の成果を実践すべく、東急グループである強みを活かし、渋谷にて「合同インターンシップ」を令和6年12月13日、16日の2日間開催した。

参加した42名の大学職員志望の学生に対し、各大学の特徴、職場環境等について説明を行った。



後半のパートではオリジナル「すごろく」を用いて、自身の所属する部署の実例に基づく業務体験を行った。終了後の参加者アンケート結果は、満足度100%であり、当初の目的を達成した。

ビジネスネットワークの集い

活動の概要

- 連携先：青々会本部、青々会東急グループ支部
- 活動期間：2024年9月27日（金）
※ビジネスネットワーク参加者を増員するため同年6月から各方面へイベント周知活動を展開。キャリアセンター協力
- 活動場所：渋谷エクセル東急ホテル
- イベント参加人数：約70名
- 参加団体：参加企業として約40社

(目的)

ビジネスネットワーク強化を主旨に卒業生が集う場を提供、集うことで生まれるビジネスチャンスの可能性を高め、更には卒業生同士の親交も深め帰属意識の定着に繋げるイベント。

(活動内容・成果)

事前準備で行った卒業生リストの整理、分析により卒業生在籍企業の把握に繋がった。また、当日も多くの卒業生が名刺交換を行い、ビジネスネットワークを拡大することができた。本学卒業生会(青々会)の大きな課題である繋がりの弱さ、帰属意識が低い部分を改善する機会となった。

(今後の課題・目標)

課題でもあり、目標でもある卒業生参加型イベントの継続性が大切である。単発で終了してしまうイベントも学内で多いため、アップデートさせながら毎年継続を目標とする。



【お問い合わせ先】
亜細亜大学 総務部 総務課

〒180-8629
東京都武蔵野市境5丁目8番

TEL : 0422-36-3241
E-mail : somu@asia-u.ac.jp